

忠実な愛する兄弟

シリーズ～コロサイの信徒への手紙～

2014/9/28

コロサイの信徒への手紙4章7～9節

わたしの様子については、ティキコがすべてを話すことでしょう。彼は主に結ばれた、愛する兄弟、忠実に仕える者、仲間の僕です。彼をそちらに送るのは、あなたがたがわたしたちの様子を知り、彼によって心が励まされるためなのです。また、あなたがたの一人、忠実な愛する兄弟オネシモと一緒に行かせます。彼らは、こちらの事情をすべて知らせるでしょう。

手紙を届けた働き人<ティキコ>

- 「同行した者は、ピロの子でベレア出身のソパトロ、テサロニケのアリスタルコとセクンド、デルベのガイオ、テモテ、それに**アジア州出身のティキコ**とトロフィモであった。」<使徒20:4>
- 「わたしがどういう様子でいるか、また、何をしているか、あなたがたにも知ってもらうために、**ティキコ**がすべて話すことでしょう。彼は主に結ばれた、愛する兄弟であり、忠実に仕える者です。」<エフェソ6:21>
- 「わたしは**ティキコ**をエフェソに遣わしました。」<テモテ二4:12>
- 「アルテマスか**ティキコ**をあなたのもとへ遣わしたら、急いで、ニコポリスにいるわたしのところへ来てください。わたしはそこで冬を越すことにしたからです。」<テトス3:12>

もう一人の働き人＜オネシモ＞

「あなたがたの一人、忠実な愛する兄弟オネシモと一緒にに行かせます。彼らは、こちらの事情をすべて知らせるでしょう。」

- 「あなたがたの一人」
 - コロサイ教会の信徒？
- 「彼らは、こちらの事情をすべて知らせるでしょう」
 - 単に手紙を持たせたわけではない
- 「オネシモ」：フィレモンへの手紙に登場する逃亡奴隷
 - パウロはこの手紙と共に主人のもとに送り返した
 - この手紙を書いたもう一つの大きな理由か？

フィレモンへの手紙

キリスト・イエスの囚人パウロと兄弟テモテから、わたしたちの愛する協力者フィレモン姉妹アフィア、わたしたちの戦友アルキポ、ならびにあなたの家にある教会へ。

わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。わたしは、祈りの度に、あなたのことを思い起こして、いつもわたしの神に感謝しています。というのは、主イエスに対するあなたの信仰と、聖なる者たち一同に対するあなたの愛とについて聞いているからです。わたしたちの間でキリストのためになされているすべての善いことを、あなたが知り、あなたの信仰の交わりが活発になるようにと祈っています。

兄弟よ、わたしはあなたの愛から大きな喜びと慰めを得ました。聖なる者たちの心があなたのお陰で元気づけられたからです。それで、わたしは、あなたのなすべきことを、キリストの名によって遠慮なく命じてもよいのですが、むしろ愛に訴えてお願いします、年老いて、今はまた、キリスト・イエスの囚人となっている、このパウロが、**監禁中にもうけたわたしの子オネシモ**のことで、頼みがあるのです。彼は、以前はあなたにとって役に立たない者でしたが、今は、あなたにもわたしにも役立つ者となっています。**わたしの心であるオネシモを、あなたのもとに送り帰します**。本当は、わたしのもとに引き止めて、福音のゆえに監禁されている間、あなたの代わりに仕えてもらってもよいと思ったのですが、あなたの承諾なしには何もしたくありません。それは、あなたのせっかくの善い行いが、強いられたかたちでなく、自発的になされるようにと思うからです。恐らく彼がしばらくあなたのもとから引き離されていたのは、あなたが彼をいつまでも自分のもとに置くためであったかもしれません。

その場合、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、つまり愛する兄弟としてです。オネシモは特にわたしにとってそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、一人の人間としても、主を信じる者としても、愛する兄弟であるはずです。だから、わたしを仲間と見なしてくれるのでしたら、オネシモをわたしと思って迎え入れてください。彼があなたに何か損害を与えたり、負債を負ったりしていたら、それはわたしの借りにしておいてください。わたしパウロが自筆で書いています。わたしが自分で支払いましょう。あなたがあなた自身を、わたしに負っていることは、よいとしましょう。そうです。兄弟よ、主によって、あなたから喜ばせてもらいたい。キリストによって、わたしの心を元気づけてください。あなたが聞き入れてくれると信じて、この手紙を書いています。わたしが言う以上のことさえもしてくれるでしょう。ついでに、わたしのため宿泊の用意を頼みます。あなたがたの祈りによって、そちらに行かせていただけるように希望しているからです。

クリスチャンになった逃亡奴隷オネシモ

- 主人に何らかの損害を与えて逃げた奴隷オネシモ
 - 「もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者」
 - 「以前はあなたにとって役に立たない者でした」
 - 「彼があなたに何か損害を与えたり、負債を負ったりしていたら」
- 監禁中のパウロに出会いクリスチャンとなった
 - 逃亡先として大都会ローマを選んだ？
 - 「このパウロが。監禁中にもうけた**わたしの子オネシモ**」
 - 「オネシモは特にわたしにとってそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、一人の人間としても、主を信じる者としても、愛する兄弟であるはずです」

身元引受人となってオネシモを返す

- 主人に送り返すことを決断したパウロ
 - 当時、逃亡した奴隷は死罪とされた
 - 「わたしの心であるオネシモを、あなたのもとに送り帰します。本当は、わたしのもとに引き止めて、福音のゆえに監禁されている間、あなたの代わりに仕えてもらってもよいと思ったのですが、あなたの承諾なしには何もしたくありません」
- オネシモの負債を自ら背負ったパウロ
 - 「彼があなたに何か損害を与えたり、負債を負ったりしていたら、それはわたしの借りにしておいてください。わたしパウロが自筆で書いています。わたしが自分で支払いましょう」

オネシモの受け入れを願うパウロ

- パウロの懇願

- 「わたしを仲間と見なしてくれるのであれば、オネシモをわたしと思って迎え入れてください」
- 「兄弟よ、主によって、あなたから喜ばせてもらいたい。キリストによって、わたしの心を元気づけてください。あなたが聞き入れてくれると信じて、この手紙を書いています」

- ちょっとした脅し？

- 「わたしのため宿泊の用意を頼みます。あなたがたの祈りによって、そちらに行かせていただけるように希望しているからです」

私たちも一人のオネシモ!

- 損害を与えて神のもとから逃げている
 - 「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっています」
ローマ3:23
- イエス・キリストによって負債を免除された
 - 「規則によってわたしたちを訴えて不利に陥れていた証書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。」2:14
 - 「ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。」ローマ3:24
- 自由でありつつ、喜んでキリストに仕える奴隷
 - 「主によって召された奴隷は、主によって自由の身にされた者だからです。同様に、主によって召された自由な身分の者は、キリストの奴隷なのです。」コリント一7:2

